

## 関西同窓会総会に出席！ 9月2日、@大阪

関東同窓会会長 上原 昇 (2組)

第27回目を数える上田高校関西同窓会総会・懇親会が9月2日(土)10時半から、大阪コロナホテル(新大阪駅前)で開催された。筆者(上原)は関東同窓会を代表して来賓として出席した。筆者が関西同窓会に出席するのは4回目である。

関西同窓会(竹内俊隆会長:68期)は京都、大阪、兵庫などに在住もしくは勤務している同窓生約400名で構成されている。65期も10名前後の人が関西エリアに住んでいる。

関西同窓会では日ごろ、文化サロン講演会や文化交流会など独自の活動を行っている。

当日は48期から84期までの会員34名と来賓(内堀学校長、金子同窓会理事長ほか)6名、計40名と例年より少な目で、65期からの出席が無かったのは残念。

総会後の講演会では八十二銀行大阪支店長の片桐伸介さん(84期)から「長野県経済の近況と上田一大河ドラマ「真田丸」の経済効果」と題する話を聞いた。

それによると、「真田丸」放映期間中に上田大河ドラマ館来訪者103万人をベースに算出した結果、長野県に齎した「真田丸」経済効果はざっと200億円、うち上田市内の観光波及効果は68億円とのこと。これは当初の想定を上回る結果であった。ただ、「真田丸」終了後、地域経済活性化に繋がる仕組み作りや観光振興策が必要との課題を示し締めくくった。

その後の懇親会来賓あいさつで、筆者は関東同窓会の活動を紹介した。

参加者全員によるスピーチでは、特に年配会員から故郷に対する強い思いが披露された。

こうして4時間にわたる長時間のパーティも無事終了した。(2017年9月5日記)

【写真:参加者全員での集合写真:前列左から3人目が筆者】

